

令和2年度 第5回 常任理事会議事録

日 時 2020年8月29日(土)9時30分～11時40分

場 所 北海きたえーる小研修室

出席者 渋谷研一、大江憲一、印藤智一、家近昭彦
田中昌幸、沓沢幸一、丸山道博、浅野泰弘
多田吉宏、春間好実、藤原 正、田中 淳

<進行：春間常任理事>

1. 開 会

※議事録署名人に渋谷理事長、春間常任理事、多田常任理事の以上3名とする。

2. あいさつ(渋谷理事長)

本会議は春高開催に向け予定より1カ月前倒し、午後に理事会も開催することとなった。先だって全国大会は無観客での実施が発表されており、代替大会では無く春高の予選会となるため、午後からの理事会に説明をよろしく願います。今回の案件は多いが前回の常任理事会で確認済みの物がほとんどであり、午後の理事会で承認を得ることとなるようよろしく願います。

3. 協議事項

(1) 第2回理事会開催について

○総務委員長より本日14:00から理事34名中29名の出席、幹事2名の出席で開催の報告がある。書面決議の定時評議員会で監事に須田氏が新たに就任されたので、理事会冒頭に就任の挨拶を頂く。理事会の内容について協議事項は下記の7議題となり、協議事項のほとんどは前回の常任理事会で協議しており、若干の残りを本日これから協議する。

(1) 高校選手権北海道予選会及び高校新人大会開催について

(2) 令和2年度会計執行状況及び補正予算について

(3) 倫理委員会報告について

(4) 北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規程の改正について

(5) 北海道バレーボール協会文書管理規程の設置について

(6) 北海道バレーボール協会90周年事業について

(7) 旅費規程の運用について

報告事項は下記の報告となる。

(1) 令和2年度前期事業実施状況について

(2) その他

(2) 高校選手権北海道予選会及び高校新人大会開催について

○田中競技委員長より2020高校選手権大会・新人大会の運営計画について説明がある。

1. 大会運営上ガイドラインとして会場の使用コート数、大会の日程は3日間、無観客試合、各試

合に設定時間を設ける、コートオフィシャルは当該チーム、その他として、大会申込み方法、感染対策グッズ関連の説明がある。内容に対しての協議及び確認として、業者からの出店は行わずグッズは予約販売とすること、入場対象者は選手 18 名以内及びチームスタッフ（監督、コーチ、マネージャー）とすること、コートオフィシャルは試合中のチームからとすること、本大会は移動や会場の密を避け感染予防を特に重点を置いており、ガイドラインにより観客席は 1/4 の 1000 席しか取れず、選手の控え場所となるためとご理解頂く。感染対策とし、チームの入場時は監督の責任の基、健康チェックシートの提出と検温をお願いする。大会申込み書に協会長印は不要とする。

2. 2020 年度全日本バレーボール高等学校選手権大会について、大会スケジュールでリモートの代表者会議を 2 回実施する。2 回目は大会実施の最終判断とチームからの質問を受け付ける。UHB 社より大会最終日は 1 面で実施するよう要請があり例年通り 6 試合となる。最終判断については北海道で緊急事態宣言が出た場合に大会を中止とする等の文言を開催要項に記載する。
3. 2020 年度北海道高等学校バレーボール新人大会について大会は 5 会場 6 コートで実施する。審判員等役員の交通費が膨らむ件は遠方から参加の審判員については初日の正午集合とし前泊は極力行わない。それでも赤字になる場合は規定通り道協会と折半とし最大 30 万円の補助がある。最終判断としては、地元北見市の判断とする。

○田中総務委員長よりスポーツ振興事業として、最後の大会の代替大会として 2020 高校選手権大会を申請し 100 万円の国庫補助金が支給される。北海道教育委員会で進めているアンバサダー制度で表彰式・閉会式でファイターズの事業として田中賢介氏の表彰が可能かの問い合わせがあり、閉会式・表彰式は実施しないがコート表彰は実施するのでタイミング良く来て頂ければ対応は可能と回答している。

(3) 倫理委員会報告について

○総務委員長より、山本倫理委員長の処分内容の報告を本日の理事会で処分にあたらぬことでの決定をする。

(4) 北海道バレーボール協会競技者及び役員倫理規程の改正について

○総務委員長より、昨年度第 3 回理事会において宇野理事からの指摘があった、「ホームページ等への公表期間の基準を検討し次回理事会に提案する」との案件について、掲載期間は現在の規程には無いため、追加で改正することの説明があり理事会に提案する。

4. 報告事項

(1) 日協関係

○渋谷理事長より東京オリンピックが 1 年延期となったが、オリンピック期間中の全国大会、ブロック大会、都道府県大会を開催しないよう通知があったが、来年度の日程はすでに決まっており今年度と同じような通知はしないと JVA が決定した。

(2) 各委員会


- 総務委員会 次回第6回の常任理事会の日程は10月17日午前9時30分より北海きたえーるにて実施する。また第7回の常任理事会は11月15日(日)の予定をしていたが、11月13日午後6時から北海きたえーるに変更する。当日は選手権大会の2日目で試合が継続中の場合は全試合終了後より開催する。
- 競技委員会 8月25日現在の登録チーム数の説明がある。6人制総合大会の廃止を本日の理事会に報告する。主管協会の年次別一覧において、今年度中止となった協会に令和4年度以降開催地が決定していない大会開催地として打診していく。
- 審判委員会 7月にJVAより活動再開における方針が発表され、それを基づいて北海道協会の方針を作成し、それを基にこれから始まる大会の運営を実施する。今後大学秋季リーグ、高校選手権大会が始まり、特に大学リーグを中心に審判の活動を再開する。その後のVリーグの研修も兼ねる。先月にアンケートを実施し各地区の状況を確認したところ、地区の審判講習会はほとんど実施されていない。今年度B級審査会に9名が受講を希望しているが、2部以降の大学リーグ日程が決まっていないため、決定次第実施の方向である。
- 強化委員会 2023年北海道開催のインターハイに向け、北海道のみのJOCを準備中である。
- クラブ連盟 10月下旬開催の道デサント杯は中止とし、同日同会場を利用して6人制交流会の実施を準備中である。密を避け1コート3~4チームのみを午前午後に分けて実施を計画する。
- 学連 9月17日より1部女子を皮切りに秋季リーグをスタートする。2部以下はチームの参加状況を含めて検討中である。
- 高体連 2週間前に全国会議をリモートで実施した情報として、2021年度の富山インターハイ全種目の日程はオリンピックとパラリンピックの間に実施する。今回中止になった鹿児島国体は2023年度となり、2023年度本来実施する佐賀国体以降1年順送りとなることが発表された。
- 小連 8月2日の総会を実施し今年度の全道規模の大会中止が決定した。スポーツ少年団の全国大会は9月中に判断される。
- 実連 11月15日に9人制全道交流戦の実施を準備中である。
- ヤング連 櫻田杯を開催する予定で会議を進めている。

5. 閉会


【次回：令和2年10月17日(土)9時30分・北海きたえーる】

議事録署名人

理事長

炭谷 研一 

議事録署名人

春間 好実 

議事録署名人

多田 吉宏 